

技術評価認定書

評価認定対象技術：**コンタイブロック工法**
(CTBB-S-2500, CTBB-S-2250, CTBB-F-2500, CTBB-F-2250, CTBB-G-2030)

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（1996年6月1日施行）に基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環再生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

2022年 4月 1日

公益社団法人 **雨水貯留浸透技術協会**

会 長

佐藤 直良

記

1. 評価認定結果

- (1) 雨水の流出抑制施設として、貯留浸透による流出抑制機能を有すると認められる。
- (2) 歩道・駐車場として、実用上必要な強度を有すると認められる。
- (3) 施工が容易であると認められる。
- (4) 施設の維持管理が容易に行えると認められる。
- (5) 環境に配慮した工法であると認められる。

2. 評価認定の前提

- (1) 提出された資料には事実に反した記載がないものとする。
- (2) 本認定に使用する材料は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本認定の施工は、標準施工要領に従い適正な施工管理のもとに行われるものである。

3. 評価認定有効期間

自 2022年 4月 1日

至 2027年 3月 31日

4. 申請者

中川ヒューム管工業株式会社 茨城県土浦市真壁1-16-11

株式会社 林物産 茨城県日立市東金沢町3-17-7

1. 評価認定対象技術

◆評価申請者：中川ヒューム管工業株式会社・株式会社林物産

◆対象技術：コンタイブロック工法

◆技術の概要：コンタイブロック工法は、駐車場に「コンタイブロック」を敷き並べ、雨水浸透による流出抑制・地下水涵養及び環境緑化を目指して開発した雨水の流出抑制工法である。本工法は、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）が可能な新しい透水性緑化駐車場として、雨水の流出抑制・景観・温暖化対策に寄与するオンサイト型（現地貯留浸透施設）の工法である。

◆開発目標：コンタイブロック工法の開発目標は以下のとおりである。

- (1) 雨水の流出抑制施設として、貯留、浸透による流出抑制機能を有すること。
- (2) 歩道・駐車場に実用上必要とされる強度を有していること。
- (3) 施工が容易であること。
- (4) 維持管理が容易であること。
- (5) 環境面を考慮した工法であること。

2. 評価の経緯

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（平成8年6月1日施行）に基づき、中川ヒューム管工業株式会社・株式会社林物産のコンタイブロック工法について評価を行うものである。

※雨水貯留浸透製品評価認定「雨水製評第12号」取得

3. 評価の前提

- (1) 評価の対象とした技術は、試験や施設を構成する各部に適正な品質管理のもとに製造された材料を用い、適正な管理のもとに試験および施工されるものとする。
- (2) 評価の対象とした技術は、特許法などにおいて違法性のないものとする。
- (3) 本技術の評価は、申請者から提出された資料をもとに行うものとする。

4. 評価の範囲

評価の範囲は、コンタイブロックを用いて透水性の緑化駐車場を構築し、流出抑制等に活用する技術とする。

5. 評価の結果

コンタイブロック工法について、雨水貯留浸透技術評価認定に関する評価項目に基づき審査した結果、総合治水対策および水循環再生に寄与すると認められる。

- (1) 雨水の流出抑制施設として、貯留、浸透による流出抑制機能を有すると認められる。
- (2) 歩道・駐車場として、実用上必要な強度を有すると認められる。
- (3) 施工が容易であると認められる。
- (4) 施設の維持管理が容易に行えると認められる。
- (5) 環境に配慮した工法であると認められる。

6. 評価の内容

評価にあたり具体的な内容は、以下に示す。

(1) 機能性

コンタイブロック工法は、貯留、浸透による流出抑制施設として必要な機能を有していると認められる。また、大型平板のため荷重が分散され不等沈下（わだちなど）が起こり難い。

(2) 強度

コンタイブロックは、強度の照査により実用上必要な強度を有していると認められる。コンタイブロック工法に使用するコンクリートの圧縮強度は35MPaで、コンタイブロックの曲げ強度は、大型駐車場に規定されている5MPa（インターロッキングブロックの品質規格）以上を有している。

(3) 施工性

コンタイブロック工法は、大型平板用の吊り金具等で迅速に設置でき、施工が容易であると認められる。

コンタイブロック設置後における植生工や碎石充填工などは、設置工と工程分離が可能である。施工時には、通常の地先ブロックが必要ないことから施工の効率性が図られている。

(4) 維持管理性

コンタイブロック工法の施工後の維持管理は、目視点検が可能であり、維持管理が容易に行えると認められる。また、コンタイブロック下の路盤材、埋設管などの補修、修繕が必要な場合は、2箇所開口部に吊り具等を設置し、ブロックを仮置きして作業が可能である。

(5) 環境安全性

コンタイブロック工法では、蒸発散による表面温度の低減によるヒートアイランド低減効果も確認している。また、開口部に充填される植栽・碎石は容易に分離でき、リサイクル理が可能であり、環境への負荷を軽減している。

7. 留意事項および付言

コンタイブロック工法で使用する植栽の枯損による機能の低下を防止するため、植栽管理に留意すること。